

2013年 9月号
通巻 139号

発行所

岩手県盛岡市中央通3丁目8-16
電話019-651-0810
FAX019-653-1057
岩手県同胞生活相談総合センター

ハナ



ハギハツキョ2013

毎月25日発行 0円 同胞生活情報誌 ハナ songsu75@yahoo.co.jp

「夏季学校 in2013」開催

県南支部主催の夏季ウリマル教室が7月30日～8月3日にかけて今年も北上で開催された。

講師は崔慧瑛さん(朝大政経学部1年)。朝高2年の時以来、2度目の登板で今回は「ボランティア」だった。

教室に参加した子供たちは短い期間ではあったが母国語であるウリマルを習得するため暑い最中、まじめに学んだ。

またコンパ(朝鮮のすごろく)や朝鮮の童謡も学び楽しく過ごした。

最終日には県南支部からの毎年のご厚意で「昼食会」のご褒美があった。



金剛山歌劇団公演迫る!

金剛山歌劇団盛岡公演がいよいよ9月10日(火)、盛岡市民文化ホールにて開催される。

3年ぶりとなる今回の公演は東日本大震災後初めての公演開催となる。

1955年から始まった歌劇団の岩手公演が2010年を最後に震災後2年間開催できずにきたが、今年こそはの思いで立ち上がった同胞たちの熱意と公演開催を心待ちにしてくれた歌劇団ファンの日本の方々の後押しがあつての開催となった。

公演前日は共和国創建65周年の記念日。その記念イベントとなる公演の成功のため、厳しい政治・経済状況を乗り越え実行委員たちをはじめたくさんの同胞が汗を流し準備をした。

そして公演が「復興」への一助になることを願って。当日は夜6時30分からの一回公演。

同胞の皆さん。知り合いの方を誘ってぜひご観覧ください。

世界柔道選手権女子 78 キロ級金メダル

ブラジル・リオで開催された世界柔道選手権・女子78キロ級で朝鮮のソル・ギョン選手が優勝、金メダルを獲得した。ソル選手は2012年柔道W杯70キロ級金メダリスト。今回は階級を上げての快挙となった。



開城工団事業継続、離散家族再会9月末に開催

8月14日、第7回北南当局実務会談で開城工業地区正常化のための合意書が採択され「破綻」の危機をまぬがれた。

8月23日には北南赤十字実務会談が板門店で行われ離散家族・親戚の再会に関する合意書を採択した。

9月末に金剛山で北南100組の家族が再会を果たし、11月にも予定するとの事。

李政権5年間で最悪の状態であった北南関係、政権交代後も依然硬直していたが北側の大胆にして柔軟、そして忍耐強い対応がもたらした合意。改善のきざしを歓迎する。

総聯岩手県本部金永徹顧問葬儀

8月9日、金永徹さんが亡くなられました(84歳)。8月16日、追悼式が総聯岩手県本部葬として東京・町屋斎場にて執り行われました。故人は長きに亘り岩手で同胞のための活動に尽くされ県本部委員長(1992年～2001年)も歴任されました。その後亡くなるまで本部顧問を務められました。謹んでご冥福をお祈りします。

いもじょも掲示板!

■追悼碑清掃事業 (今年3回目)

日時:9月7日(土) 9時~

場所:滝沢村 アピオ内 追悼碑前

■金剛山歌劇団盛岡公演

日時:9月10日(火)

会場:盛岡市民文化ホール大ホール

※同胞はチケットが無くても入場できます。

■第18回「強制連行犠牲者」追悼式

日時:9月13日(金) 11時~

会場:滝沢村 アピオ内 追悼碑前

■県南支部「時局講演会」

日時:9月18日(水) 14時30分

会場:ブランニュー北上

会費:3,000円

※公演終了後、懇親会を予定しています。

■ウリ信ゴルフコンペ

日時:9月25日(水) 10時~

会場:西仙台CC

■盛岡支部「時局講演会」

日時:10月2日(水) 13時~

会場:本部会館 3F

東北同胞メルマガに登録を!

つながる!豊かな同胞社会

開始から1年が過ぎました。

岩手同胞生活相談総合センターでは9月以降、冠婚葬祭をはじめ、同胞への情報提供は基本的にこの「東北同胞メルマガ」に集約しようと考えております。

ということでまだ未登録の方は至急登録してください。

急いで登録を完了させてください。

登録なさらないと連絡が届かないことがあります。

右記QRコードより登録
ください。

※メルマガの登録、
受信等にはパケット
通信料が発生します。



■県南支部ゴルフコンペ

日時:10月16日(水) 7時30分集合、8時スタート

会場:北上CC

会費:3,000円(プレー代等は各自負担)

※表彰式は午後3:30より「板門店」(別会費-3,000円)

ドクターカンの 健康講座

第128回 『味覚障害』

「最近味がわからなくなった」という症状を聞いた
たりしたことはありませんか。この症状は味覚障
害の1つです。

そして「料理の味が薄く感じる」「舌が少しヒリ
ヒリする」「味がおかしく感じる」など症状はさま
ざまです。

昔、私の教わった先生が長年この研究をしておら
れ最近ある新聞に書いていました。それによると
この障害は女性に多く、年齢層は60代が最多と
いいます。又、偏った食生活や極端なダイエット
の影響で若い人にも増えているとも言っており
ます。

甘味、塩味、酸味、苦みを感じる能力は加齢で衰
えることはないが、加齢でいろいろな種類の薬の
服用が増え、その副作用で味覚障害になる人が多
く、なんと味覚障害を起こす薬は240種類もある
といえます。ですが薬を変えたり、休薬したりし
ながら亜鉛剤を服用することで改善します。

どうして亜鉛が重要なんでしょうか。

味を感じる器官は舌の味蕾(みらい)細胞で、こ
の味蕾の新陳代謝に亜鉛が必要ですが、食品の
酸化防止やたんぱくの変性防止のために、ファ
ストフードやインスタント食品等に使用され
る「ポリリン酸」や「フィチン酸」が亜鉛の働
きを抑えてしまいます。又、亜鉛欠乏は皮膚に
湿疹を起こし易くします。

治療はすぐ想像できますよね。食事の改善と亜鉛
の摂取ということになります。

亜鉛はたんぱく質に多く含まれるため肉や魚をきち
んと食べることや加工食品を制限することです。亜
鉛の入ったサプリメントが沢山ありますが亜鉛以外の
サプリメントが入っていない製品をすすめています。
なぜなら亜鉛は食事と一緒に摂取すると吸収効果
が上がるためです。やはりバランスのとれた食事が
一番の予防ですね。

やっとな涼しくなってきました。

バランスのとれた食事と睡眠で
夏バテから早く回復しましょう。



(協力:幸クリニック院長 姜幸一先生)